

# VR体験したら、北海道の未来も見えてきた!

## あしたね。プロジェクト 第3弾「IT」活動レポート

北海道ってすごいな、カッコいいな。こどもたちにそう思ってもらえるような人・モノ・コト・挑戦を「あしたへの“たね”」として伝えるプロジェクト。

第3弾「ITのあしたね。」は、北海道発のIT企業「インフィニットループ」を率いる松井健太郎代表取締役をプロジェクトリーダーにお迎えして、インターネット上で他のユーザーとアバター(分身)で交流できる今注目のメタバース(仮想空間)の世界に触れ、みんなでVR(バーチャル・リアリティ/仮想現実)空間を体験!北海道にしながら、最先端の仕事ができることを肌で感じてもらいました。

## みんなでVR空間に潜入!



髪型や服装、持ち物など、自分の好きなように細かくカスタマイズしたアバターと、自分で作ったアバターの中のみならず、リアルでも、同じ決めポーズで記念撮影!誰が、どのアバターなのか、わかったかな?

©infinite loop Co.,Ltd ©Custom Cast,Inc ©VirtualCast, Inc.



**北海道からでも、最先端は実現できる。まずは自分の「好き」とことん探求しよう**

プロジェクトリーダー

株式会社インフィニットループ  
代表取締役  
**松井 健太郎さん**

チャットを使って仕事を進めたり、ビデオ会議でコミュニケーションを取ったりと、どこでも場所を選ばず仕事ができる時代になってきています。これからは好きな場所で好きなことを仕事にしていける時代です。私自身、北海道が大好きで、ここで生きていくことを決めて起業しました。北海道は自然や文化が豊かで、多くの魅力があります。皆さんも好きな場所で自分の夢を追いかけ、実現させることができます。まずは、自分に合った場所を見つけることが大切です。そして、自分が好きなことを見つけることも同じくらい大切です。何かを作ることが好きなら、プログラミングやデザイン、音楽など、自分に合った分野を見つけてみてください。

好きなことなら、努力をすることが苦になりません。夢になって取り組むことができます。好きなことを見つけるには、まず何でもやってみる事です。新しいことに挑戦することで、自分に合った分野や興味を持てるものが見つかるかもしれません。

自分が本当にやりたいことを見つけたら、それを追いかけるために、一生懸命努力してほしいと思います。自分の好きなことを仕事にすることができれば、生き生きとした毎日を送ることができます。皆さんも自分に合った場所と好きなことを見つけ、夢を実現させてください。

### STEP 1 オンラインセミナー [1/10(火)]

**松井さんもVR空間から登場!「地方にいてもITの仕事はできる?」質問も続々**

オンラインセミナーでは、松井さんが学生時代からプログラムを書くのが好きだったこと、北海道で事業を立ち上げた理由なども知ることができました。さらに、インフィニットループが得意とするゲーム開発の現在や、現実と仮想世界を融合するXR(クロスリアリティ)技術、メタバースの活用アイデアについても教えていただきました。後半のQ&Aコーナーでは、「ゲームクリエイターになるにはどうしたら?」など、みんなの質問にも答えていただきました。



オンラインセミナーは  
YouTubeでアーカイブを配信中

### STEP 2 体験イベント [1/11(水)]

#### ●アバターづくりを体験!

VR空間で利用するアバターづくりを体験。「カスタムキャスト」というアプリを使って、自分の好きなものを反映させたアバターをつくっていきます。

どんなキャラがいい?髪は何色?ヘッドフォンをつけたり、剣を持つこともできちゃう。完成したアバター、それぞれの個性が出るね。



#### ●さあ、VR空間に潜入だ!

ゴーグルを装着。インフィニットループの公式キャラクター「あいえるたん」のナビゲートで入っていくと、目の前には「バーチャル大通公園」が!

アバターの動かし方を教えてもらいながら、4人1組のチームで参加。最初は感覚がつかめず四苦八苦。でもコツをつかむと、コミュニケーションしたり、決めポーズも!



#### ●グループディスカッション

テーマは「ITの技術を使って、北海道の未来をよくするためには?」

松井さんから学んだことや、この日実際に触れて感じたXR技術の可能性を想像し、チームで話し合い。



みんなの提案は、「遠隔地への医療技術の提供」「北海道観光の疑似体験」「第一次産業(農業・漁業)の疑似体験」「ARによる道案内・Googleマップの機能拡張」「文化的格差をなくすバーチャルイベント会場の増設」。



人々の暮らしや人生をより豊かにするための提案で素晴らしい!と松井さん。近い将来、実装できる可能性もあると教えてくれました。

